

PSZ-A

取扱説明書

装着可能機種	
BCZ220/221・BCZ230/231/235・BCZ240/241/245・BCZ260/261/265・BCZ270/271/275・BCZ300・TRZ230/235・TRZ260/265・TKZ230/231/235・TKZ260/261/265・BKZ265/266・BKZ305・BK3420S	
	⚠ 危険 ●ソーチェンを配電線に近づけないでください。誤ってソーチェンで配電線を切断すると、感電により死傷する場合があります。 ●作業中は半径 15m以内に他の人を近づけないようにしてください。切りくずの飛散や枝などが落下して大ケガをする恐れがあります。 ●他の作業者と作業位置が上下にならないようにしてください。切り粉の飛散・切断された枝などが落下したり、ソーチェンが落ちたとき、重大な事故となる恐れがあります。
	⚠ 警告 本製品は鋭利な刃物を装備しているため、取扱いを誤ると重傷事故を招く危険があります。使用時は、注意事項を守って正しく操作してください。 ●ソーチェンを人のいるほうに向けしないでください。 ●ソーチェンの張りが適正ではない状態で使用しますと、重大な事故を招く場合があります。必ず使用前および作業途中に点検してください。 ●作業途中にソーチェンを点検・調整する際はエンジンを停止し、ガイドバーとソーチェンが冷えてから実施してください。 ●使用中にソーチェンに噛み込んだ枝や切りくずなどを取り除く場合は、エンジンを停止してください。 ●ソーチェンで作業をするときは、ハンドルをしっかりと握ってください。ソーチェンが動いている時は、ハンドルから手を離さないでください。 ●作業は水平から 60 度の範囲で行ってください。 ●使用時以外は付属のプロテクタをソーチェンに装着してください。 ●作業時は作業帽(ヘルメット)、フェイスプロテクタ(顔面防護具)、耳栓、手袋を着用してください。

重 要
枝などを切らない状態でスロットルレバーをいっぱいにつまみつかないでください。エンジンが空ぶかし(無負荷高速)になり、エンジンやシャフトを破損させる原因となります。

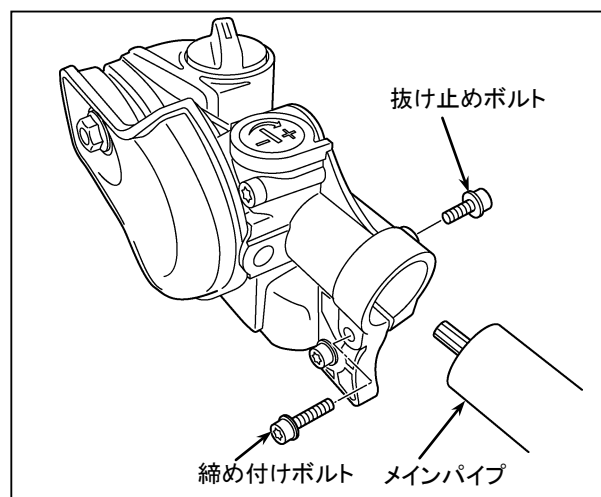
■刈払機ギヤケースの取り外し

チェーンソーアタッチメントを装着する刈払機のギヤケースを取り外します。

■チェーンソーアタッチメントの取り付け

- (1) 締め付けボルトと抜け止めボルトをゆるめてください。
- (2) チェーンソーアタッチメントをメインパイプに差し込み抜け止め穴を合わせます。
- (3) 締め付けボルト、抜け止めボルトを確実に締め付けてください。

注意 	ボルトは必ず付属のレンチで締め付けてください。
--	-------------------------



■ガイドバーとソーチェンの取付

下記の要領でガイドバーとソーチェンを取り付けてください。

注意



- ソーチェンを装着する際は必ず手袋を装着してください。
- ソーチェンは右図の拡大図に示す向きで取り付けてください。

- (1) チェン張り調整スクリを左に回し、チェンテンショナーをギヤケースの後方に移動させます。
- (2) ソーチェンの方向を確認して、ソーチェンをガイドバーの溝にはめ、次にスプロケットにはめます。
- (3) ガイドバーを本体から遠ざける方向に引き、チェンテンショナーの先端をガイドバーの穴に入れてください。チェンカバーを取り付け、締め付けナット(1箇所)で軽く締め付けてください。その後、ソーチェンの調整作業に入ります。

■ソーチェンの点検と調整

新しいソーチェンを使用する場合は、ソーチェンが伸びやすいため、張り調整をひんぱんに行ってください。

ソーチェンの調整は、安全性や寿命あるいは切断性能に大きく影響しますので適正に調整してください。張りが強いときは、ソーチェン、ガイドバーが焼けたり磨耗し、張りが弱いとソーチェンがガイドバーから外れたりスプロケットやガイドバー等の部分的な磨耗を早めます。

新しいソーチェンはチェーンオイルに一晚浸してから使用してください。

1. 点検

ガイドバーの中心近くのソーチェンを指で軽く持ち上げたとき、ガイドバーから3～4mm浮いた状態になっていることを確認して下さい。もし、範囲外の場合は、次の手順に従って調整してください。

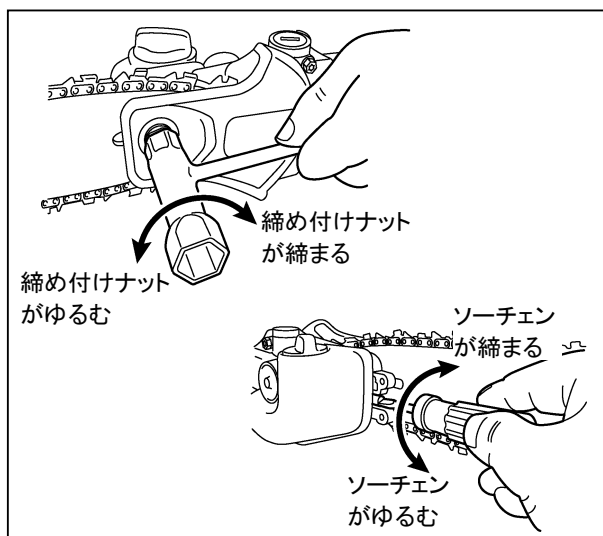
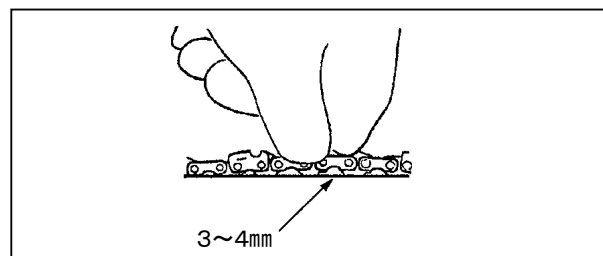
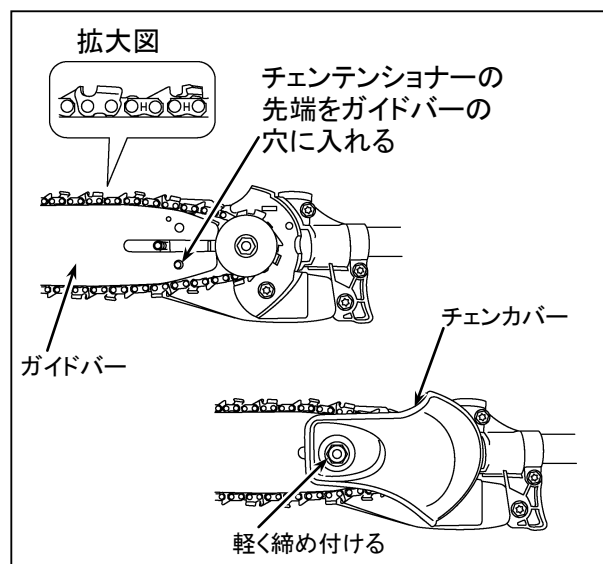
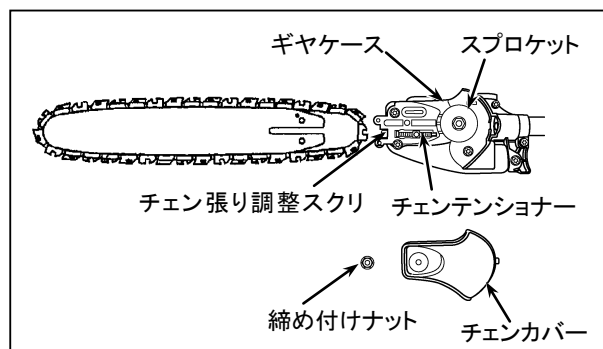
2. 調整

注意



調整の際は、必ずエンジンを停止してください。

- (1) 作業途中で調整するときは、チェンカバーの締め付けナット(1箇所)を付属工具のレンチで約1回転ゆるめてください。(反時計方向)
- (2) ガイドバーの先端を持ち上げソーチェンを張り、ドライバーでチェン張り調整スクリをまわしてください。
 - ・時計方向にまわす：ソーチェンが張ります。
 - ・反時計方向にまわす：ソーチェンがゆるみます。
- (3) 調整が終わったらチェンカバーの締め付けナット(1箇所)を付属の工具のレンチで、手で確実に締め付けてください。



■チェーンオイルの吐出点検と

給油量の調整

本機にはソーチェンを回転させると自動的にチェーンオイルが給油される自動給油装置を装備しています。

1. 吐出点検

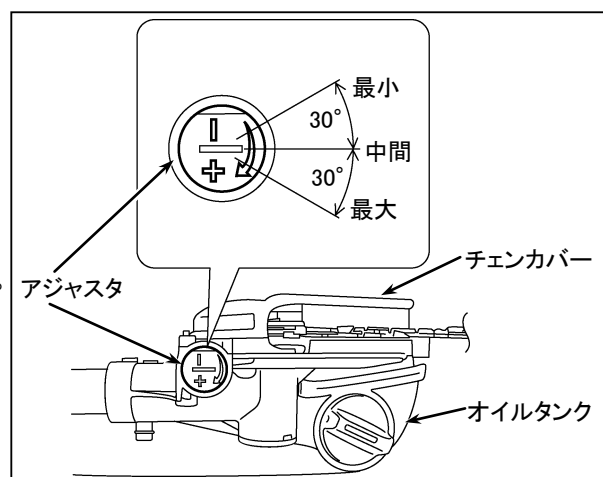
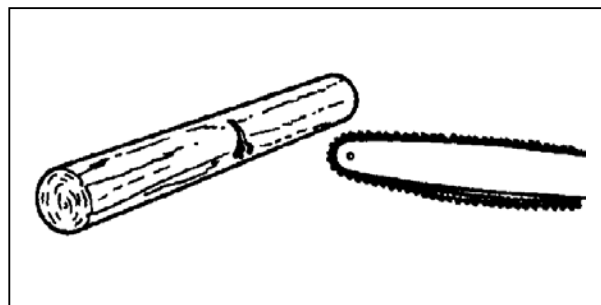
- (1) エンジンを始動し、スロットルレバーを引いてください。ソーチェンが回転します。
- (2) ガイドバーを乾いた木や地面に向けてソーチェンを回転させ、木や地面に付いたオイルの跡からチェーンオイルが出ていることを確認してください。

2. 給油量の調整

オイルの給油量は、必要に応じてアジャスタをマイナスドライバーで回し流量を変更してください。

オイル給油量は気温・オイル種類によって変化します。切断作業前は必ず調整してください。

- (1) ギヤケース上部の吐出量アジャスタにマイナスドライバーを差し込んで回してください。
- (3) 時計回り方向に回すと吐出量は増え、反時計方向に回すと吐出量は減少します。

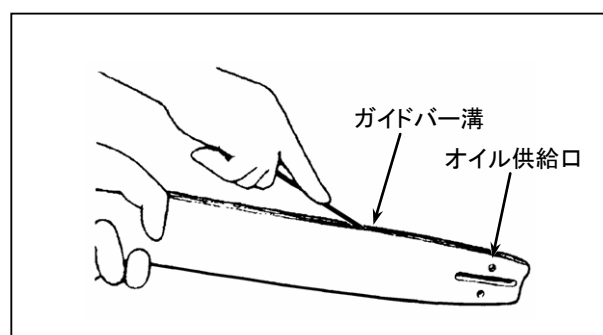


■スプロケットの点検

- (1) チェンカバーをはずしてください。
- (2) スプロケットが磨耗していたらお求めの販売店か弊社営業所にお問合せください。交換の目安は段差が 0.3 mm です。

■ガイドバーのお手入れ

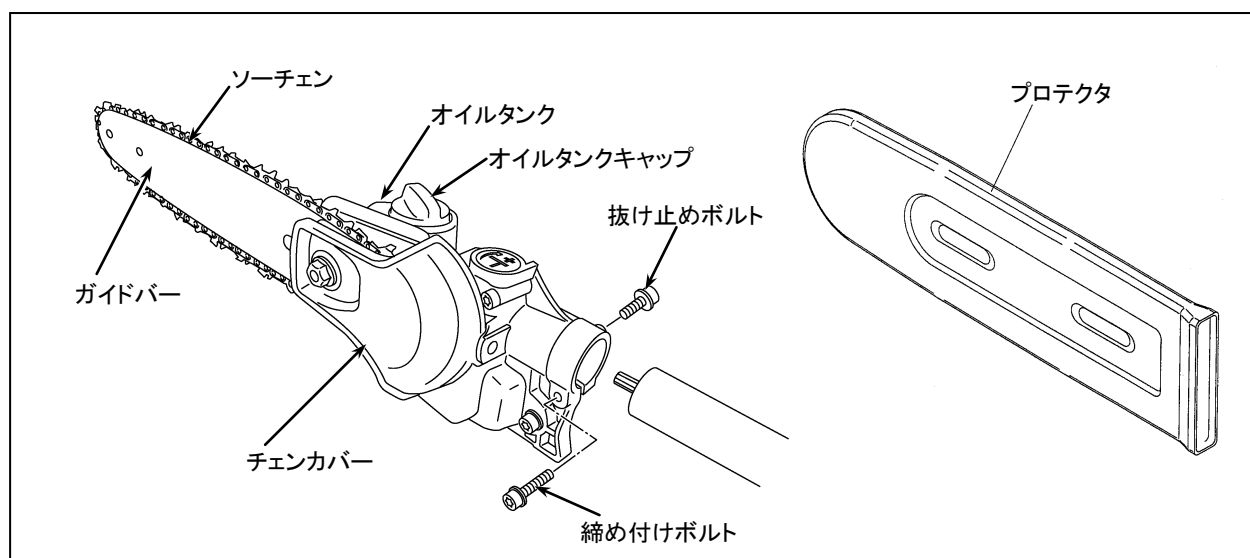
- (1) ガイドバーの溝、オイル穴部はいつもきれいにしておいてください。もし切り屑がつまっているときは薄板などで取り除いてください。ガイドバーやソーチェンの磨耗を防ぎ寿命がのびます。
- (2) ソーチェンの目立てや交換をするときは、ガイドバーの上下を裏返してください。ガイドバーの片側のみが磨耗するのを防ぎ、寿命がのびます。
- (3) ガイドバーの溝が浅くなり、ドライブリンクの足がバー溝の底に接触する前にガイドバーを交換してください。ソーチェンの弛み、ソーチェンの外れ、ソーチェンの倒れを防ぎます。



■仕様

PSZ-A		
動力伝達方式	伝達方式	スパイラルベベルギヤ
	減速比	1.06
	潤滑方式	グリース潤滑(リチウム系グリース使用)
ギヤケース	ガイドバー長さ	250(10")
	ソーチェーン	H00-58E/25AP-58E
	(ピッチ)	(1/4")
	(ゲージ)	(0.050")
	スプロケット歯数	8
	チェーン給油方式	油量調整式自動給油
	チェーンオイル	ゼノア純正チェーンオイルまたはSAE10W-30相当オイル
	オイルタンク容量 mL	140
標準装備品		レンチ、ナードライバ、プロテクタ

■各部の名称



修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出下さい。

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社: 〒350-1165 埼玉県川越市南台 1-9

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社



0570-550933

月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

<https://www.zenoah.com/jp/>

✉ info.hv@husqvarna.jp

114404279(Rev.B)